新宿区議会議員選挙候補者アンケート「子育て政策聞いてみた」

みらい子育て全国ネットワーク＆（新宿区）落四小学区域の学童クラブと地域の子どもたちを考える会

新宿区民のみなさん、子どもたちが生きる社会に関心のあるみなさん、**４月２３日は新宿区議会議員選挙です。**街頭で名前だけ聞いてもよくわからない。選挙公報を読んでもよくわからない。という方もいらっしゃいます。そこで、候補者の皆さんにアンケートをいたしました。約６０名という、これまでにない多くの候補者の中で、メールアドレスやホームページのお問い合わせfホームがある方（４０名）にアンケートを送らせていただき、１３名の方からご回答いただきました。ありがとうございました。保育の質もひとそれぞれ。学童クラブを増設するという方も増設しないという方も、児童館を作るという方も作らないという方も。給食費を無償化するという方もしないという方も。産後支援を充実させる方もそうでない方も。候補者のみなさんの考え方はいろいろ。去年の新宿区長選挙の時、**子育て世代の投票率は高齢者の半分以下**でした。区民の代表として区のことを決める区議会議員。
このアンケートも参考にして、子育て世代も**投票にいってみよう！**

質問は　以下の5項目　と　その他　です。

【問１　保育園の質】	【問２　学童クラブ】	【問３　子どもの居場所】	【問４　給食費無償化】	【問５　産後支援】
新宿区は保育園を増設し待機児童ゼロを達成しました。しかし、希望した園に入れない、兄弟が別の園になる、保育士配置の問題、園庭がないなどの施設面の問題があります。また、保育の質（虐待、不適切保育、子ども主体ではない保育など）の課題も残されています。 特に、虐待、不適切保育、子ども主体ではない保育という「保育の質」は重要でありながら中身が見えにくく、これからの課題だと思います。 〇保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。 〇保育の質はあまり問題ではないと思う。 〇その他:	小１の壁も話題になっています。 新宿区の学童クラブ３２のうち定員オーバーは２２（２０２２年１２月）。中には２倍以上の子どもたちを詰め込んでいる学童クラブもあります。区は一人増員、分室運営など、少しづつ定員を増やしていますが、まだまだ需要に追い付いていない状況です。学童クラブは定員以上の詰め込み状態。部屋を増やした大規模化、分室では、異年齢保育が困難になるなどの学童保育の質の低下も起こっています。詰め込み大規模化で落ち着かず、保育も管理的になり、学童に行きたくないという子どももいます。放課後子どもひろばは学童クラブ（放課後児童クラブ）ではありませんので国の基準もなく子どもたちの毎日の生活の場としてふさわしいとは言えません。さらには放課後子どもひろばは、学校の空き教室がなく、子どもが活動するための部屋を貸してもらえないという問題も発生しています。子どもたちの育ちを考えれば需要に合わせて新しく学童クラブを増設してほしいという意見があります。 〇学童クラブを増設する。 〇学童クラブを増設するのではなく、分室や定員増のみの対応、放課後子どもひろばの利用で対応する。 〇その他:	新宿区では子どもの居場所が少ないという実感があります。家でゲームをしていれば外で遊びなさいと言われる。公園で遊んでいるとうるさいと怒られる。ボールは禁止。学校の空き教室もないため、放課後子どもひろばの環境も不十分。中高生が道端でしゃべっていると通報される。子どもが通える範囲に児童館がない地域もあります。子どもが健やかに育つにはゼロ歳から高学年や中高生まで含めた子どもの居場所が必要です。 〇児童館のない地域に児童館をつくる 〇児童館はこれ以上作らない。 〇その他	子どもの貧困、子育ての経済的負担が問題になっています。給食も義務教育の一環なのに保護者負担であることが疑問視されています。児童手当その他でお金を給付するのもよいのですが、そのお金をどう使うかは親の判断。すべての子どもたちにメリットとなり保護者の負担も減る給食無償化は他の区でも開始されています。 〇給食を無償化する。 〇給食無償化はしない。 〇その他	核家族化が進み孤立した産前産後を過ごす親が増えています。産後うつも問題になっています。新宿区は、産後支援をショートステイ型に加え４月からデイサービス型、アウトリーチ型も開始されました。まだまだ数がすくなく、利用しにくいという声があります。 〇産後支援を充実させる。 〇産後支援はこのままでよい。 〇その他

おなまえ敬称略 （政党名）	【問１】 保育園	問１自由記載	【問２】 学童	問２自由記載	【問３】 児童館	問３自由記載	【問４】 給食無償化	問４自由記載	【問５】 産後支援	問５自由記載	【問６】 その他
渡辺清人 （自由民主党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。		学童クラブを増設する		その他	民間会社と連携して居場所作りを推進する	その他	無償化は国がやるべきだが、2人目半額や3人目無償等は要望している。	産後支援を充実させる。		子ども支援は更なる拡充が必要と考えております。また区独自の児童相談所開設についても検討が必要と思います。その他にも、福祉や介護・教育・防災・経済・地域等様々な課題が山積しておりますので、限られた土地や予算を適材適所に活用したいと考えております。
沢田あゆみ （日本共産党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	保育の質を向上させる事が必要で、そのためには保育士の配置基準を改善し、もっと余裕を持って一人ひとりの子どもに目が行き届くよう保育士を増やすことが必要と思います。さらに保育士の処遇改善をしなければ、慢性的な保育士不足は解消しません。	学童クラブを増設する	学童クラブの１支援単位の改善がようやく実現したので、分室や定員増で大規模化するのではなく増設する事で子どもの育ちを保障すべきと思います。	児童館のない地域に児童館をつくる	児童館という安心して遊べる場所が必要です。学校の放課後子どもひろばもありますが、学校以外の場所も子どもたちには必要。子どもが歩いて通える場所に児童館を配置すべきと思います。	給食を無償化する。	23区のうち9区が実施しており、年度内実施や検討中のも２区あります。国も、無償化に向けて課題の整理をすると言い出しています。新宿区で無償化に必要な予算は６億円。貯金は656億円。必ず実現できると確信しています。	産後支援を充実させる。	必要とする人が容易に利用できるように体制を整備しなければ、制度があっても使えないのでは意味がなく、産婦にとってはストレスになると思います。	子育て中のか方々とお話しをすると、所得制限のない子育て支援を望む声や、高等教育にかかる教育費への支援を求める声を多く聞きます。こうした課題にも取り組みたいと思います。
渡辺みちたか （自由民主党）	その他	〈保育園は「入れる園を探す段階」から「選ぶ段階」に。〉質問にある通り新宿区では「保育園緊急整備担当」という課長級のポジションを置いて保育園を増設してきました。複数年連続で待機児童ゼロになり、この点はいい仕事をしたなと評価しています。一方で、子どもの数が想像以上に減り、かつ育休が広がり、保育園の（地域の差はあるものの全体でみれば）定員に対して児童数がダブつく状態になっています。これからは民間の園からは定員減の要請や、競争が激しくなるものと考えます（いまは、民間の保育園ではなるべく差をつけさせないような仕組みになっています）。保育園は区立の保育園だけではありません。区立の保育園の質だけではなく、民間の保育園の質を高められるような環境も作ります。	その他	〈単に「増設する！」というのは責任のない答えで、課題解決には他の方法も含めて考えます。〉学童クラブを増設します！とそう叫ぶのは簡単ですが、実際やるのは難しいです（なので軽々にそれを叫ぶ政治家は責任感がないなと思います）。新宿の政策のボトルネックはほとんどが「土地がない」問題に行き当たります。人もいて、カネもまあまあある、だけど土地だけがない、そんな状態です。なのでただ単に「学童クラブを増設します！」だけではなく、いろいろな方法を模索したいと思います。逼迫しているのはよく理解していますし、区にも課題は何度も伝えています。学校の近くで借りれる場所があれば（見つかれば）増設すべきです。	児童館はこれ以上作らない。		その他	〈昨年度から「小中学校入学お祝い金」を新設しました。〉昨年度から区の独自政策「小中学校入学お祝い金」を新設しました。我々自民党が強く「納税者にもリスペクトをした政策を！」と訴えた結果、所得制限なしで実施されることとなりました。新宿区は私立小学校に通う児童が1割強、私立中学校が約5割となっていますから、極めて公平な政策が実施できたと考えています。公立小中学校の給食費の無償化については、国や都が現在実施への議論を始めたところですので、広域的に解決できれば一番いいのではないでしょうか。区で実施するとなると昨年始めた「入学お祝い金」と財源問題でぶつかる可能性があります。	その他	〈2年連続で拡充したので状況をまず見て次の手を打ちたい。〉区の現在の対応ですが、この分野を昨年度、今年度と2年連続で拡充してきているので評価しています。多子世帯で、２子目、３子目を生んだ方がこれまで利用できなかったので、今年度からアウトリーチ型も始まったので状況をみていきたいと思います。	私は保守の政治家です（なお、故安倍総理に代表されるような国会社会主義的な、逆進的なイメージの保守（＝いってしまえば右翼）ではありません）。保守、というのはこの国、この地域を次の世代、その次の世代まで維持していく、つないでいく、という思想です。いまこの国の課題は子どもが少なくなり、それが社会全般のリスクになっています。その歯止めをかける意味でも子育て環境の充実は重要であり、私自身も３児の父ですので当事者の一人として取り組んでいきます。

おなまえ敬称略 （政党名）	【問１】 保育園	問１自由記載	【問２】 学童	問２自由記載	【問３】 児童館	問３自由記載	【問４】 給食無償化	問４自由記載	【問５】 産後支援	問５自由記載	【問６】 その他
小野裕次郎 （立憲民主党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	保育士の確保強化（処遇改善など）、保育士の配置基準の見直し、保育施設の安全性の徹底（行政による全ての施設の実地検査など）、保育と教育の連携強化など	学童クラブを増設する。	ニーズに応えられるだけの施設や定員数を用意する。候補となる建物や土地の情報を地域や保護者などから幅広く募り、計画を前進させる。民間事業者の活用も検討する。	児童館のない地域に児童館をつくる	学童クラブと同様に候補地となりうる情報を幅広く募る。公園でのボール遊びなど、時間や曜日などを限定した上で開放する。	給食を無償化する。	ただちに給食無償化すべき。	産後支援を充実させる。	生活が多様化している中、幅広いケアの仕組みが必要。また、数を増していく必要もあるのと同時に産前産後の時間的幅も多くとることが肝要。	
川村のりあき （日本共産党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	まず、保育士を増やすことです。私は、保護者が立ち上げた50年近い歴史を持つ認証保育所の理事をしており、私のパートナーも保育園の園長をしています。同保育園では認可保育園の基準以上の保育士さんを配置していますが、保育の質を高めるにはマンパワーが最も重要です。75年間配置基準が変わっていません。国と東京都に基準引き上げを求めるとともに、新宿区独自に保育士を増配置できるようします。無園庭問題解決も急務です。	学童クラブを増設する。	文教子ども家庭委員会副委員長として、学童クラブの定員増に取り組んできました。今ある施設内での定員増は限界で、民間施設を借り上げるなどして場所を確保し、区が責任をもって学童クラブを増設すべきです。	児童館のない地域に児童館をつくる	PTA会長として児童館の運営委員を務めた経験からも、子どもが健やかに育つにはゼロ歳から高学年や中高生まで含めた子どもの居場所が必要だということに全面的に賛同します。民間施設を借り上げるなどして場所を確保し、区が責任をもって児童館を設置すべきです。	給食を無償化する。	給食無償化のため、議会に条例提案と予算修正案を提案しました。残念ながら自民党や公明党、無所属の議員の方の賛同は得られませんでしたが、23区中9区は既に実施しており、実現のため、保護者の皆さんとともにフォーラムを開催したり、世論をさらに広げ、反対の会派の皆さんを説得していきます。	産後支援を充実させる。	待機児童解消が達成し、保育園に空きが出てきている今、セーフティーネットとして保育園を活用します。具体的には無園児が保育園の利用ができたり、育児休業中で追い出される問題や、専業主婦（夫）でも、一時保育が気軽に安全にできるような仕組みづくりをします。	西落合児童館が工事により閉館されたとき、子ども達の居場所をなくしてはいけないと、パートナーと一緒にプレイパークを立ち上げました（現在は他の方に引き継いでいます）。子どもたちが保護者の方より後に登校しなければならないと聞いて、小学校の朝遊びを立ち上げました。困っている子どもがいたら、即行動しています。次期の目標は、子どもの権利条例をつくって子どもたちが区政の主人公になることです。
山口かおる （立憲民主党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	保育士の待遇の課題として、重労働（子どもの数や賃金、勤務時間など）という課題が保育の質にも関連しています。特に虐待は許してはならないもので、体制をどう整えるかご意見を伺いながら取り組みます。	学童クラブを増設する。	学童クラブの質の低下から、新宿区から引っ越したという方のお話も伺いました。学童クラブの増設は難しい課題ではありますが、分室などの対応では、本来学童クラブの目的である安全で安心な保育ということから外れてしまうと考えます。増設を視野に入れて、あくまで分室や定員増などは一時的な対応であることを確認していきます。	その他	児童館が必要な地域か、類似した施設でもよいのか検討したい。児童館は児童福祉法により設置される施設の定義があるので、場所や子どもたち、親の状況によっては児童館とせずに自由な利用が促進できる施設がよい可能性があります。類似した施設なのか、幅広い年齢の方が集まれる場所がいいのか、意見を伺いながら検討していきます。	給食を無償化する。	子どもの教育費の無償化の一環として、学校給食の無償化について取り組みます。教育を受ける権利は平等に保障されており、給食だけでなく制服や修学旅行なども含めて無償化し新宿区であれば安心して子どもたちを学校に通わせることができるようにしていきたいと考えます。	産後支援を充実させる。	今月から開始したサービスについては、利用者の声などを集めて有効な支援ができているのかを定期的に調査することが必要です。また、どのような支援があるのかを周知することができているかも確認することが重要になると考えます。	世田谷区の子ども条例のように、子どもたち自身が子どもの権利にふれて、また大人もその成長をサポートするという機会を作っていきたいと考えています。子どもが子どもらしく過ごすことを支えることも重要な役割です。子どもたちの居場所づくりに力を入れて取り組みます。
松本順子 （社会民主党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	職場での産休育休に対する理解、保証の整備。非正規労働者にも適用するべきです。	学童クラブを増設する。	開発業者と一体となり一定の公園なり、広場、プレイルームを設置するべきです。	児童館のない地域に児童館をつくる	問２と同様。地域での交流も大切ですね。	給食を無償化する。	先日国が給食費を負担すると発表しましたのでこの政策に期待します。食の安全に取り組みたいと思います。	産後支援を充実させる。	更に拡充する取り組みをしたいです。	ゆとりをもった育児をしてもらいたい。女性の労働条件改善に取り組みたいです。妊娠を報告したとき「おめでとう！」と皆が喜んでもらえる職場に！

おなまえ敬称略	【問１】		【問２】		【問３】		【問４】		【問５】		【問６】
（政党名）	保育園	問１自由記載	学童	問２自由記載	児童館	問３自由記載	給食無償化	問４自由記載	産後支援	問５自由記載	その他
伊藤 陽平 （無所属）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	2月に学校における子どもたちの人権やスクールハラスメントについて対策について質問をしましたが、保育現場についても同様の対応が必要と考えています。コンプライアンス意識を向上させることが質の向上につながると考えており、さらなる研修を求めます。	その他	〈どちらも必要ではないかと考えています。〉 新宿区では増設という言葉を用いてはおらず、新設または定員拡充ということで現在も整備を進めています。子どもたちが自分の足で通えるという条件で整備する必要があるため、どちらも必要と考えています。	児童館はこれ以上作らない。	すべての小学校で放課後こども広場を設定しているためご利用をお願いします。ボール遊びがより自由にできるよう、あるいは公園や公共施設をお気軽にご利用いただけるように、さらなる働きかけを行ってまいります。	給食無償化はしない。	子育て世帯への支援として注目を集めていることは理解していますが、新宿区のように財源の課題が解決しない状態で新たな無償化(納税者負担化)は難しいと考えています。結果的に保護者、選挙で意思表示をできない子どもたちなど将来の納税者負担を増加させる要因になるため慎重な議論を行ってまいります。	産後支援を充実させる。	充実の定義によりますが、適切な納税者負担で質の高いサービスを提供するということであれば、必要なことだと考えています。ご指摘の産前産後支援事業については改善が進んでいると理解していますが、行政評価を実施することでPDCAサイクルに基づき充実させることが大切だと考えています。	障害児支援や児童養護施設等への支援など課題が深い領域では個別的な対応が重要であるため、関心が集まらない傾向にあります。支援する場合、少人数に対して個別的な対応が必要になり、費用が大きくなる傾向にあります。限りある財源を優先的に活用するためにも行財政改革を推進して積極的に取り組んでまいります。
しらよし たけひろ （無所属）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	そもそも「保育の質」とは何でしょうか。 私はこの3年間、産前産後ケアと保育の質向上について取り組んできました。その中で、最も課題と感じているのは「親の学びの浅さ」です。 親が自身の価値観をきちんと確立しなければ、保育の質の良し悪しを判断できるはずがありません。 まずやるべきは「子供の幸せとは何か、必要な環境は何か」について親がきちんと学ぶことであり、そのための学びの環境を整備します。	その他	〈地域にもっと多様な学び場や居場所を作る〉 小学校が終わった後も半ば強制的に一つの施設に通わされる。しかも基本的には預かるのみで新しい学びや発見があるわけでもない。 私はそこに根本的な問題があると考えています。 個人や町会、新宿区が運営する学び場、交流広場、畑、将棋・囲碁の教室、スポーツ教室など個々の興味に合ったより広い選択肢を用意すべきです。そして、講師や運営はシニア世代に活躍してもらうことで元気になってもらい相乗効果を図りたいです。	その他	〈地域にもっと多様な学び場や居場所を作る〉問２の返答と同様の返答になります。 そもそも「子供」と括る必要がありません。現代では年齢問わず誰にとっても「居場所」がありません。 リアルに人と触れ合わないことで「若者」とか「シニア」という言葉で区別を作り、比較し、対立する構図が生まれています。 これらを解決するためには『多世代で交流すること』が必要です。地域の皆で集まり、趣味や特技を持ち寄って教え合い学び合う場を増やせば、居場所も交流も学びも得られます。	給食を無償化する。	私は『子育て無償化』を訴えています。 親の本音は「お金は配らないで良いから子育てにお金がかからなければそれでOK」これです。 既に少子化は不可避ですが、若者の人口は少しでも多い方が良いので本当の意味で子供を社会全体で育てる必要があります。 給食費無償化も当然に実施すべきですが単に無償化するのではなく、子供たち自身で作った野菜を給食に使うなどの工夫をすべきで、大量に生産して子育て世帯にも配りたいです。	その他	〈産後支援は重要だが、産前支援にもっと力を入れる〉私はここ3年ほど産前産後ケアの改善に取り組んできた中で最も課題だと感じるのは「産前の学びの浅さ」です。 『出産』に対する準備はしっかり整えますが、出産と同時に開始する『産後と育児』への準備はほとんどされません。 この点をもっと手厚く指導し環境を整えることが重要です。同時に、旦那様にも一緒に学んでもらい、育休制度や産後の母の身体のツラさ、簡単な料理、オムツ交換、などの最低限の家事育児について学ぶ場を用意すべきです。	「産前の学び」を深めるための意義ある講座を提供すべきです。また、産後ケアや子育てについての総合相談窓口を用意し、自分が困っていることに気付かない状態から救い上げられる仕組みを用意して産後鬱を予防します。 子供がいる家庭に最低限の食材を提供したいと考えています。例えばカレーの食材・卵・米・納豆・豆腐・味噌です。 子供用衣類のリユースも地域で広めます。 文字通り「子育てにお金がかからない」を実現したいです。

おなまえ敬称略（政党名）	【問１】		【問２】		【問３】		【問４】		【問５】		【問６】
	保育園	問１自由記載	学童	問２自由記載	児童館	問３自由記載	給食無償化	問４自由記載	産後支援	問５自由記載	その他
杉山直子（日本共産党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	保育士の処遇改善と配置基準の引き上げ。定員割れの場合も運営に支障が出ないように区からの財政支援を強めることで、保育の質を確保します。	学童クラブを増設する。	定員増や分室は一歩前進ではありますがそこに留まるべきではないと思います。子ども一人一人の側の視点に立てばやはり面積基準をしっかりと守り、新たに学童クラブを作るべきです。おとめ山公園の中に学童クラブを作るなど提案をしていきます。	児童館のない地域に児童館をつくる	放課後にしっかり遊ぶのが子どもの仕事と思っています。街全体を遊び場にできるのが理想ですが、安全などの観点からそれは難しい時代です。住む場所によって不公平にならないよう、どこの子どもも負担なく行ける範囲内に児童館を設置することが必要です。	給食を無償化する。	義務教育に係る費用は完全にゼロにするべきと考えます。保護者の経済状況による差が生じないようにすることが絶対に必要です。	産後支援を充実させる。	現状の産後ケア事業に宿泊型、通所型、訪問型の三種類が用意されている点がとても良いと思いますが、期間/利用回数が短い/少ないと感じます。産後の体力回復という観点からは２週間くらい必要なのではないでしょうか。	
さわいめぐみ（れいわ新選組）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	れいわ新選組では地方マニフェストとして、下記２点の政策をかかげています。 ・保育所の配置基準を大幅に引き上げ、保育士が担当する子どもの人数を減らします。 ・保育士への家賃補助（最大月10万円）や、定着支援のための一時金（毎年20万円を7年間）を支給します。 私自身、実家の青森で米軍基地の子ども達をあずかる保育施設で働いていた経験があり、その時の実感からもまずはこの２点の政策を実現したいと考えます。	学童クラブを増設する。	学童クラブの増設を前提に、れいわ新選組 地方マニフェストに則り、下記２点の政策を進めたいと考えます。 ・小学校の放課後対策事業（学童保育）指導員の大幅な賃上げや処遇改善をすすめます。 ・放課後対策事業（学童保育）の場所の確保や、指導員の資格と配置に関する基準の順守をすすめます。	児童館のない地域に児童館をつくる	居場所づくりは世代を超えた現代社会の課題だと考えています。実態を調査、ヒアリングしたうえで、当事者である子ども達を含めた皆様のご意見を承り、安全な居場所をつくる。できれば当事者の方々で意思決定を行い、一部予算を使うということもできるといいと思います。	給食を無償化する。	れいわ新選組のかかげる政策を進めたいと考えます。 ・学校給食を無償化します。食育の観点から地元の食材や有機野菜などの利用を、防災の観点から自校式給食の提供を目指します。 私自身、農園勤めをしていた頃、化学調味料をほぼ排除し、無農薬の作物を食べる生活２年ほどしていたことがあります。味覚が変わり、添加物にまみれた市販のお菓子が無味乾燥に感じられるようになり、大人になってから発症したアトピー症状が治まりました。経済のみならず、健康面からも上記政策が必要です。	産後支援を充実させる。	産後うつの実情の調査、ヒアリングをしっかりと行い、対策に努めたいと考えます。	れいわ新選組は地方マニフェストとして下記を掲げ活動していきます。 ・子どもの医療費を18歳まで無償化します。 ・妊産婦の医療費助成制度を拡充します。 ・不妊治療の保険適用外部分に関して負担減となる補助金を創出します。 ・夜間学校など学び直しのための機会を充実させます。高等技能訓練促進費事業、自立支援教育訓練給付金を拡充します。 私自身、家庭教師として様々な子ども達の支援を行ってまいりました。子ども達を守る、を政策の柱に加え、子育て支援、教育環境の充実の支援を拡充していきたいと考えております。
佐藤佳一（日本共産党）	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。		学童クラブを増設する。		児童館のない地域に児童館をつくる		給食を無償化する。		産後支援を充実させる。		

おなまえ敬称略	【問１】		【問２】		【問３】		【問４】		【問５】		【問６】
（政党名）	保育園	問１自由記載	学童	問２自由記載	児童館	問３自由記載	給食無償化	問４自由記載	産後支援	問５自由記載	その他
近藤なつ子 (日本共産党)	保育の質向上に向けて具体的に動くつもりである。	ご指摘の通りの課題は解決するため取り組んでいかなければなりません。公的保育を後退させ、利益優先の株式会社まで経営できるようにしたことで保育士の処遇も後退しました。諸外国から見ても低すぎる保育士の配置基準や施設基準を改善するのは行政の役割です。みなさんと一緒に保育園の質を改善するため頑張ります。	学童クラブを増設する。	学童は子どもにとって放課後の安心できる居場所でなければなりません。その場が安定的に確保できていないのは問題です。私たちも一貫して学童クラブの増設を求めてきました。これからも取り組みます。	児童館のない地域に児童館をつくる	落合第４小学校の地域をはじめ、児童館の増設が必要です。小学低学年だけでなく、高学年の子も、いつでも行って良い場所が必要です。また、ボール遊びなどできる広場の確保していきたいです。	給食を無償化する。	即刻、新宿区でも実施すべきです。新宿区では新たに６億円出せば実施できます。教師の負担も軽減できます。今年度から実施させたいです。	産後支援を充実させる。	保育園などでいつでも相談ができ、子どもを預かれるようになると安心です。各保育園に保育士を加配して機能を充実できるようにしていきたいです。	子育てを両親ともに担えるよう男女問わず８時間働けば十分暮らせる収入が保障されること、保育・教育にかかる費用を軽減することは急務です。子育てを社会全体で支援できるよう頑張ります。